



広報 えびな

編集・発行
海老名市役所広報広聴課
〒243-04
神奈川県海老名市勝瀬175
☎ (0462) 31・2111

3/1~7 春の全国火災予防運動



ちょっとした不注意で火災に……

点検を重ねて築く「火災ゼロ」 家でも防災チエツクを!

「点検を重ねて築く。火災ゼロ」を統一標語に、今年も三月一日から七日まで全国一斉に春の火災予防運動が行われます。春先は気温の変化が激しく、空気が乾燥し、風も強いのでいったん火災が発生すると大火になる恐れがあります。この運動期間中、市消防本部、消防署、消防団では、大型店舗や危険物運搬車などの立入検査や消防車両による広報、一般家庭の防火診断などを行います。今回は、防火診断の内容の一部と消防団活動を紹介しましょう。

万が一火災になっても、素早い消火と安全な避難ができなければ、人命にかかわります。そのために私たちの健康管理と同様、住宅を火災から守るための安全カルテを作るのが住宅防火診断です。この防火診断は、消防職員がみなさんのご家庭を訪問して、家族構成や火気の使用状況などを調査してその安全性を総合的に診断し、改善点などの評価結果をお知らせするものです。診断では主に次のような点をチェックします。

ホースの亀裂を確認

□□□

天井などが木造の場合、コンロの周囲は十五センチ、また上方一メートルにはふきんなどの可燃物を置かないでください。火気を使用する台所では、換気に十分注意するとともに、老化・亀裂のあるガスホースは危険ですので、定期的に点検し、取り替えてください。

有効期限は適正?

□□□

消火器を箱や押入れに入れたままですく、いざというときに役に立ちません。目につきやすい所に置き、使用方や有効期限(粉末は5年)を家族全員が知っておくことが大切です。



消防職員が器具の取り扱いを説明



日ごろから訓練を重ねる消防団員

消防団は、各地域の住民によって組織された消防活動の主体で、十五分団(二百二十八人)で構成されています。分団員は、それぞれの地域で火災予防の広報活動をはじめ、消火栓・防火水龍などの点検を行い災害時に備えており、地域防災の中心的、指導的な役割を果たしています。

仕事をもちながら 地域防災の支えに

近年の住宅構造は不燃性の高い材質が使われているため、隣接建物などへの延焼は少なくなり比較的小規模な焼失で納まっています。また、その反面、高層建築物の増加などにより、地震が発生したときには火災に巻き込まれる恐れもあります。もしも地震が発生したときには、地域に密着した消防団の存在は市民にとって大きな支えとなります。

しかし、近年は農業や自営業など市内で働く方が少なくなくなり、市外へ通勤される方が多くなっているため、消防団員の確保が難しい状況となっています。消防団員は、各自仕事をもち、人々が一日の仕事を終え、家が疲れをいやしているときも、地域住民の生命と財産を守るため活躍しています。みなさんも、日ごろから「火の用心」をこころから掛けてください。

なお、平成三年度は、火災・風水害などで二十三件、延べ千八百五十九人が出動しています。

カーテンとの距離は

ストローブ

ストローブの周囲五十センチ以内、上方一メートル以内には可燃物を置かないでください。真上に干してあった洗濯物が落ちたり、カーテンに引火して火災が発生した例が多くあります。

空だきに注意を

ふる

ふる場での火災原因は、空だきが多いので、点火する数時間前には水をくんでおく、水漏れがないことを確かめてから点火してください。

防火診断は、市内全世帯を対象としています。が、火災予防運動期間中は、大谷・杉久保地区のご家庭に消防職員が伺いますので、ご協力をお願いします。

問い合わせ 防災課
(31・0333、内線)

火の用心 7つのポイント

1. 寝たばこやたばこの投げ捨てをしない
2. 子供には、マッチやライターで遊ばせない
3. 風の強いときは、たき火をしない
4. 天ぷらを揚げるときは、その場をはなれない
5. 家のまわりに、燃えやすいものを置かない
6. ふろの空だきをしない
7. ストローブには、燃えやすいものを近づけない



静かに活躍、電気自動車

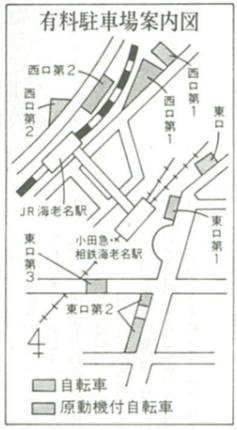
環境にやさしい。電気自動車が生活環境に配慮され、現在、公害パトロール車として活躍中。この電気自動車は4人乗りで最高速度は75km/h、1回の充電で50~70km/hの走行が可能で、排気ガスを出さない。

市税や国民年金の支払い

市では、市税などの支払いに安全で便利な口座振替をお勧めしています。現在、口座振替を利用されていない方を対象に、二月中旬に申込用紙をお送りしますので、ぜひ申し込んでください。

フリーニング

トラブルがあったら 冷静に話し合う クリーニング事故を見たら、フリーニング店にすぐ申し出て説明を求めるとともによく話し合うことが大切です。



有料自転車駐輪場など 4月以降分の受け付け 3月4日(木)・12日(金) 市では、海老名駅東口、西口の有料自転車駐輪場の申し込みを...

和風に熱中の男たち



和風に熱中の男たち 和風の魅力を、和風の文化を、和風の生活を送りたい。和風の魅力を、和風の文化を、和風の生活を送りたい。

市民歩け歩け大会

市民歩け歩け大会 - 3月14日(日) - 市教育委員会は、第9回市民歩け歩け大会を次のとおり開催します。募集人員は100人で先着順とします。

有料自転車駐輪場など

有料自転車駐輪場など 4月以降分の受け付け 3月4日(木)・12日(金) 市では、海老名駅東口、西口の有料自転車駐輪場の申し込みを...

「勝瀬」の住居表示

「勝瀬」の住居表示 現在の「勝瀬」の住居表示は、地元との話し合いを行った後、平成四年九月二十五日に市議会審議委員会が議決した住居表示審議会が議決した住居表示を実施する。...

講演会

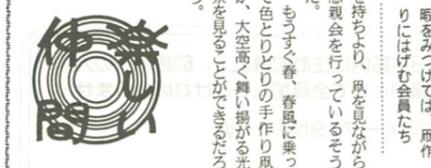
講演会 「上手なおつきあい」 NHKアナ上田早苗さん招き われていきます。人は一人では生きていくことはできません。だからコミュニケーションが必要なのです。

2月22日スタート

2月22日スタート 現在の「勝瀬」の住居表示は、地元との話し合いを行った後、平成四年九月二十五日に市議会審議委員会が議決した住居表示審議会が議決した住居表示を実施する。...

情報

情報 平成5年度固定資産課税台帳が完成しました。市役所 千243-04 海老名市勝瀬175 ☎31・2111(代)



足、以来、一年中眠るまつり。和風の魅力を、和風の文化を、和風の生活を送りたい。

みんなの伝言板

みんなの伝言板 このコーナーに掲載を希望される方は、原稿を作成して... 広報広聴課(内務)へ

「あがり」

「あがり」 一昨日利用もできます 左記の場所に開設してありますので、ご利用ください。

中国語サークル

中国語サークル 中国語の先生を迎えて生の中国語を勉強します。市役所 千243-04 海老名市勝瀬175 ☎31・2111(代)

フォトピックス



テザートはイチゴに決定

イチゴ召しあかれ 中心学園にプレゼント

一月二十三日、海老名市園芸協会イチゴ部会、橋本松夫会長、会員38人が、児童養護施設「中心学園(加藤田松園長、園児64人)を訪れ、新鮮なイチゴ六十パック(約10kg)をプレゼントした。

このプレゼントは、同部会が海老名駅前などで化粧箱入りのイチゴの直売を始めたのを契機に、「地元イチゴを子供たちに味わってもらおう」と、毎年行っているもので今年で五回目。



ドラマを制作した放送委員たち

ドラマで優秀賞 海老名高校放送委員の作品

一月二十四日、都内の社会文化館で行われた「第三十回全国高等学校放送コンクール」で、県立海老名高等学校放送委員会(木嶋幸子委員長、42人)が、ドラマ「ドキュメント」部門で優秀賞を受賞した。

出た！練習の成果 子ども文化活動発表会

一月三十一日、市文化会館で「子ども文化活動発表会」が開かれ、各地区の子ども会会員約



舞台上では子供たちの熱演が続いた



花の世話をする山本さん

縁起がいいな！ 「金のなる木」が満開に

【きのき町の山本雅(ただし)さん(自営業、67歳)宅にある「金のなる木(原名クラッスラ)が一斉に花を咲かせ、ちよつとした話題となった。】

「金のなる木」は、園芸農家でも花を咲かせるのは難しいとい

いわれている。山本さんは九年前、この木を譲り受け育て始めた。当時十センチ程だった若木も現在は約一メートル、幹回りは一四センチほどに生長したが、開花したのは初めて。正月から二月上旬にかけて、星の形に似た白色の花々が咲き誇った。

海老名むかしむかし

☎33・3838

電話で海老名の昔ばなしが聞けます。

2月4日～2月18日 第131話 白樺の精
2月19日～3月4日 第132話 地蔵盆

海老名むかしむかし

第296話

名医 齋先生

合併して海老名町となる以前は、有馬地区と海老名地区はそれぞれ独立した村だったが、明治のころは「海老名教員有馬医者」などと言って、有馬村には教員が多かったようである。しかし、ずっと古い江戸時代には、大谷からは医者が多く出たので、「大谷医者」と言われたらしい。

農村では地域によって職業にいろいろ特徴があつて、農閑期に土木工事に動き出る者が多いと、その土地の名をかぶせて「何々人足」と言ったり、遊び人が多いと「何々やくざ」と呼ばれる。江戸に動き出ると娘が多かったので「相模の飯盛り女」という言葉が今も残っているが、いずれもその土地の職業傾向や労働状況を言い表していたようである。



合併して海老名町となる以前は、有馬地区と海老名地区はそれぞれ独立した村だったが、明治のころは「海老名教員有馬医者」などと言って、有馬村には教員が多かったようである。しかし、ずっと古い江戸時代には、大谷からは医者が多く出たので、「大谷医者」と言われたらしい。農村では地域によって職業にいろいろ特徴があつて、農閑期に土木工事に動き出る者が多いと、その土地の名をかぶせて「何々人足」と言ったり、遊び人が多いと「何々やくざ」と呼ばれる。江戸に動き出ると娘が多かったので「相模の飯盛り女」という言葉が今も残っているが、いずれもその土地の職業傾向や労働状況を言い表していたようである。

合併して海老名町となる以前は、有馬地区と海老名地区はそれぞれ独立した村だったが、明治のころは「海老名教員有馬医者」などと言って、有馬村には教員が多かったようである。しかし、ずっと古い江戸時代には、大谷からは医者が多く出たので、「大谷医者」と言われたらしい。農村では地域によって職業にいろいろ特徴があつて、農閑期に土木工事に動き出る者が多いと、その土地の名をかぶせて「何々人足」と言ったり、遊び人が多いと「何々やくざ」と呼ばれる。江戸に動き出ると娘が多かったので「相模の飯盛り女」という言葉が今も残っているが、いずれもその土地の職業傾向や労働状況を言い表していたようである。

合併して海老名町となる以前は、有馬地区と海老名地区はそれぞれ独立した村だったが、明治のころは「海老名教員有馬医者」などと言って、有馬村には教員が多かったようである。しかし、ずっと古い江戸時代には、大谷からは医者が多く出たので、「大谷医者」と言われたらしい。農村では地域によって職業にいろいろ特徴があつて、農閑期に土木工事に動き出る者が多いと、その土地の名をかぶせて「何々人足」と言ったり、遊び人が多いと「何々やくざ」と呼ばれる。江戸に動き出ると娘が多かったので「相模の飯盛り女」という言葉が今も残っているが、いずれもその土地の職業傾向や労働状況を言い表していたようである。